

2023年4月24日 京都橘学園

京都橘大学における新教室棟（仮称）整備構想について（お知らせ）

京都橘学園（京都市山科区、理事長・片山傳生）では、第3次マスタープラン（2023～2027年度中期事業計画）を策定し、AI時代における社会価値創造をめざして、新たな改革を進めています。

今回の改革では、大学を中軸におき、情報・工学系研究科を起点としたAI時代の社会課題解決、メディア／アート・通信教育を起点とした新たな教育展開と地域創造、医工連携の強化による人々の健康増進・地域社会の医療充実への貢献、また私立総合学園として新しい教育創造を展開していくことなどを重点課題として掲げています。

このたび、京都橘大学における新教室棟（仮称）の整備構想をスタートすることとなりましたので、お知らせいたします。この新教室棟（仮称）は、第3次マスタープランに掲げる事業目的を実現し、教育・研究機能の高度化により社会の要請に応えた教学展開や地域・社会連携の強化をめざし、建設を進めていく予定です。

なお、新教室棟（仮称）を含めた施設整備については、構想段階であり、今後具体的にになりましたら、改めてお知らせいたします。

○京都橘大学における新教室棟（仮称）整備構想について

(1) コンセプト：豊かな緑と歴史・文化に彩られた、開かれたキャンパス

教育・研究機能の高度化により、社会の要請に応える教学展開や地域・社会連携の強化をめざします。

(2) 施設整備における目標

「豊かな緑と歴史・文化に彩られた、開かれたキャンパス」のコンセプトに基づき、以下5つを施設整備目標に定めます。

- ①大学機能高度化と計画的土地利用
- ②地域に開かれたキャンパス
- ③自然環境との調和
- ④住環境の保全
- ⑤地域の安全拠点の形成

(3) 新教室棟予定地およびキャンパス周辺整備イメージ図



【本件に関するお問い合わせ】

京都橘大学管財課

TEL : 075-574-4144